

# 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

- ① 製品の名称 : ナルファルトトップP  
② 会社名 : 成瀬化学株式会社  
③ 住所 : 三重県亀山市関町木崎1703-3  
④ 担当部門 : 工場  
⑤ 電話 : 0595-96-1411  
⑥ F A X : 0595-96-0075  
⑦ 緊急連絡先 : 本社 0595-97-8300  
⑧ 推奨用途及び使用上の制限 : 防水層保護・床用塗料  
⑨ 作成・改定日 : 2010年9月22日

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類	区分
急性毒性 経口	区分外
経皮	区分外
吸入(ガス)	分類できない
吸入(蒸気)	区分外
吸入(粉塵及びミスト)	区分外
皮膚刺激性/腐食性	区分3
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分2
呼吸器感作性	区分外
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	区分1B
発癌性	区分2
生殖毒性	区分1A
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分1
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分1
吸引性呼吸器有害性	区分外
水性環境有害性(急性)	区分3
水性環境有害性(慢性)	区分外

### ラベル要素



注意喚起語 危険

### 危険有害情報

軽度の皮膚刺激  
吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こす恐れ  
アレルギー性皮膚反応を起こす恐れ  
長期又は反復暴露による臓器(中枢神経系、呼吸器、心臓)の障害  
臓器(中枢神経系、呼吸器、腎臓、心臓)の障害  
長期的影響により水生生物に有害  
発がんのおそれの疑い  
生殖能または胎児への悪影響のおそれ

### 注意書き

#### 《安全対策》

使用前に取扱い説明書を入手する事。  
すべての安全を読み理解するまで取り扱わないこと。  
適切な保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護衣等を着用する事。

粉じん、ヒュームを吸入しないこと。  
 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。  
 取扱い後はよく手を洗うこと。

《応急措置》

曝露またはその懸念がある場合は、医師の手当て、診断を受けること。  
 気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けること。

《保管》

施錠して保管すること。

《廃棄》

内容物や容器を、国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄する事。

**GHS分類に該当しない他の危険有害性**

《有害性》

知見なし

《環境影響》

知見なし

《物理的及び化学的危険性》

通常の手扱では、火災の危険は低い

《重要な徴候》

特になし

《想定される非常事態の概要》

特になし

《国／地域情報》

分類基準に該当しない

**3. 組成成分情報（化管法、労安法、毒劇法におけるMSDS表示対象物質）**

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名または一般名

エマルジョン塗料(水性)

濃度または濃度範囲

化学名または一般名	略号	含有量	官報公示整理番号		CASNo.
			化審法	安衛法	
エチレングリコール	—	1.0%未満	—	—	107-21-1
アンモニア水	—	0.2%未満	—	—	7664-41-7
酸化チタン(IV)	—	1.0～3.0%	—	—	13463-67-7
黄色酸化鉄		1.0%未満	—	—	20344-49-4

法規制対象成分

成分	安衛法	PRTR法
エチレングリコール	通知対象物質	第1種指定化学物質 第43号
アンモニア水	通知対象物質	指定化学物質に該当しない
酸化チタン(IV)	通知対象物質	指定化学物質に該当しない
黄色酸化鉄	通知対象物質	指定化学物質に該当しない

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物

特になし

**4. 応急措置**

異なる暴露経路、すなわち吸入、皮膚や眼との接触及び経口摂取にしたがって細分された必要な措置  
 眼に入った場合

- ・直ちに大量の清浄な流水で洗い流す。
- ・上下の瞼を持ち上げることにより、眼の完全な洗浄を行う。
- ・眼の損傷の後のコンタクトレンズの除去は熟練者により処置する。
- ・できるだけ早急に医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

- ・付着物を布等にてすばやく拭き取る。
- ・大量の水及び石鹼にて十分に洗浄する。
- ・外観に変化が見られたり、痛み等の刺激があれば医師の診断を受けること。

#### 吸入した場合

- ・ 蒸気、ガス、粉塵、燃焼生成物等を吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、温かく安静に休ませる。
- ・ 入れ歯をしている場合には外すこと。嘔吐物は飲み込ませないこと。
- ・ 呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行うこと。
- ・ 必要なら心肺蘇生法(CPR)を行うこと。
- ・ 当該MSDSやラベルを医師に示し、診断受けること。

#### 飲み込んだ場合

- ・ 安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- ・ 嘔吐物がある場合、気道確保のため、患者をうつ伏せにするか、左側を下にして寝かせ、嘔吐物を飲み込まないようにする。

#### 最も重要な徴候及び症状

特になし

#### 応急措置をする者の保護

適切な保護具(保護メガネ、防塵マスク、手袋等)を着用する。換気を行う。

#### 医師に対する特別な注意事項

特になし

### 5. 火災時の措置

#### 適切な消化剤

水  炭酸ガス  泡  粉末  乾燥砂

化学品から生じる特定の危険有害性  
有害燃焼生成物

#### 消火作業用の特別な保護具と予防措置

- ・ 適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用すること。
- ・ 可燃性のものを周囲からすばやく取り除くこと。
- ・ 指定の消火器を使用すること。

### 6. 漏出時の措置

#### 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

- ・ 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を使用する。
- ・ 多量漏出時にはエリアから人員を退去させ、風上に移動する。

#### 環境に対する予防措置

- ・ 利用可能な任意の手段により河川、配水管等への流入を防ぎ、環境への影響を起さないようにする。
- ・ 河川、配水管等への汚染が生じる場合には、関係機関に連絡する。

#### 回収、中和、封じ込めおよび浄化方法と機材

- ・ 大量の流出時には乾燥砂、土、で囲い流出を阻止する。
- ・ 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・ 付着物、廃棄物等は関係法規に基づいて処置をすること。

### 7. 取り扱いおよび保管上の注意

#### 安全な取り扱いのための予防措置

- ・ 換気の良い場所で取り扱う。
- ・ 容器はその都度密栓をする。
- ・ 使用後のウェス、カス、スプレーダスト等は廃棄するまで水につけておく。
- ・ 皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、眼に入らぬよう適切な保護具を着用する。
- ・ 取り扱い後は手、顔などをよく洗い、休憩所などに手袋等の汚染物質を持ち込まないこと。
- ・ 取り扱い時には、飲食又は喫煙はしないこと。

#### 安全な保管条件(配合禁忌等)

- ・ 日光の直射を避ける
- ・ 容器を密閉して通風の良いところに保管する。

## 8. 暴露防止および人に対する保護措置

許容濃度、管理濃度(職業的暴露限界値、生物学的限界値)

成分名	管理濃度	許容濃度		
酸化チタン(IV)	設定されてない	10mg/m <sup>3</sup>	TWA	ACGIH

### 設備対策

- ・ 装置は耐腐食性のある材質を用いて作ること。
- ・ 腐食性物質に、作業者が直接触れたり、暴露しないように配慮すること。

### 必要に応じ次の保護具を着用する。

- ・ 密閉された場所では送気マスク、空気呼吸器、酸素呼吸器、有機防毒マスクを適時選択する。
- ・ 保護眼鏡、不浸透性の保護手袋、防護長靴、防護服。
- ・ 作業中の飲食、喫煙ははしないこと。飲食、喫煙前には手を洗うこと。

## 9. 物理的および化学的性質

外観	:	液体	色	:	淡グレー色
臭気	:	僅かな刺激臭	pH	:	8~9
融点	:	— °C	凝固点	:	— °C
沸点	:	— °C	引火点	:	— °C
発火点	:	— °C	比重	:	1.10~1.30
爆発限界(上限)	:	— %	爆発限界(下限)	:	— %
蒸気圧	:	— Pa	溶解度	:	易溶
オクタノール/水分配係数	:	—	動粘性率	:	— mm <sup>2</sup> /s

## 10. 安定性および反応性

### 化学的安定性

- ・ 常温付近では危険な反応はしない

### 避けるべき条件

- ・ 知見なし

### 混触危険物質

- ・ 知見なし

### 危険有害な分解生成物

- ・ 知見なし

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

酸化チタン(IV)	>10,000mg/kg	経ロラット(LD50)	IUCLID
酸化チタン(IV)	>6.82mg/1-4hr	吸入ラット(LD50)	IUCLID
エチレングリコール	4000-10,200mg/kg	経ロラット(LD50)	CICAD
エチレングリコール	10,600mg/kg	経皮ラット(LD50)	CICAD

### 皮膚腐食性/刺激性

労働衛生対策として暴露を最小限に抑えるため、適切な保護手袋を使用する必要がある。  
切創、擦過傷および皮膚の変異部などを通じて血流に入ると、毒性影響を伴う全身疾患を引き起こす事がある。使用前に皮膚を検査し、あらゆる傷口を適切に保護しておくこと。  
GHS判定基準による混合物として皮膚腐食性/刺激性

### 眼に対する重篤な損傷/刺激性

データなし

### 呼吸器又は皮膚感作性

データなし

### 生殖細胞変異原性

データなし

### 発癌性

データなし

### 生殖毒性

データなし

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)  
 データなし  
 特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)  
 データなし  
 吸引性呼吸器有害性  
 データなし

12. 環境影響情報

生体毒性

魚類

エチレングリコール	>100mg/1-96hr	ヒメダカ(LC50)	環境省生体影響試験
-----------	---------------	------------	-----------

甲殻類

酸化チタン(IV)	>1000000 μg/L(48H)	オオミジンコ	AQUIRE
-----------	--------------------	--------	--------

藻類

データなし

残留性/分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壌中の移動性

データなし

他の有害影響

製品

漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。  
 特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処する事。

13. 廃棄上の注意

廃棄残留物の記述とその安全な取り扱いに関する情報

- ・ 容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・ 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

汚染容器包装の廃棄方法

- ・ 使用残、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物業者と委託契約をして処理をすること。

14. 輸送上の注意

国連番号

国連品名

国連分類

特別の安全対策

- 共通 取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。容器に漏れが無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。
- 陸上輸送 車両等によって搬送する場合、荷送り人は運送人に運送注意書やイエローカードを携帯させる。  
 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められた運送方法に従うこと。
- 海上輸送 船舶安全法の定めるところに従うこと。
- 航空輸送 航空法の定めるところに従うこと。

15. 適用法令

- ・ 労働安全衛生法
- ・ PRTR法

16. その他情報

主な引用文献

- ・ 日本塗料工業会編集「塗料用データベース」
- ・ 溶剤ハンドブック
- ・ 化学商品(化学工業日報社)
- ・ 日本塗料工業会編GHS対応MSDS/ラベル作成ガイドブック(暫定版)
- ・ NITE(製品評価技術基盤機構)提供GHS分類結果DB

※ 注意

製品安全データシートは危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考条件として、取り扱う事業者提供されるものです。取り扱う事業所は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずる必要がある事を理解した上で、活用されるようお願いいたします。

記載した内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、以上の情報は新しい知見により、改定されることがあります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。本製品を使用するに当たって、提供された情報を適用するかどうかの最終的な決定は使用者の責任で行って下さい。全ての物質は、未知の危険性を呈する可能性があり、ここで示した危険性は起こり得る全ての危険性を網羅したものであるということを保証するものではありません。従って、本データそのものは、安全の保証書ではありません。

以上